

LIONBRIDGE



GLOBAL TRANSLATION GLOSSARY

組織向けガイド



翻訳用語集が必要な理由

メリットは何か

事前に用語集を定義して備えておくことで、翻訳作業時の質問数が減るとともに一貫性の確保と翻訳時間の短縮につながり、時間とともに翻訳全体にかかるコストを削減できます。対象市場の情報を取り入れた承認済みの用語集があれば、皆が確実に同じ訳語を使用できるほか、翻訳を通じて重要な概念が損なわれることもありません。

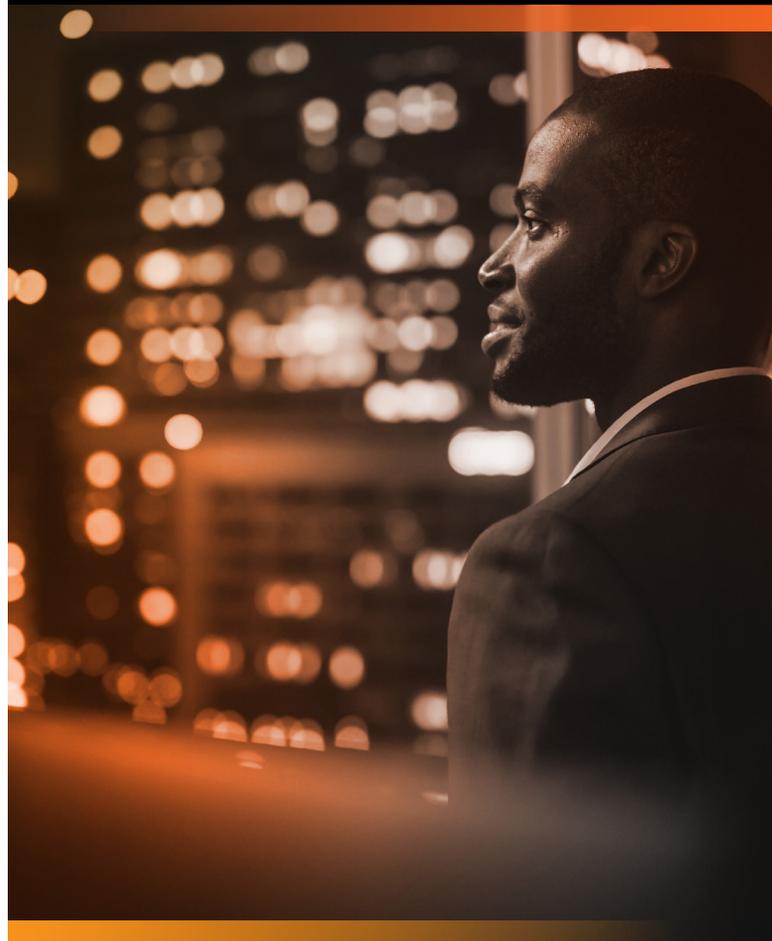
しっかりした用語集があれば、特定の利用可能な AI ソリューション (自動ポストエディットや支援型ポストエディットなど) をテストまたは適用する場合にも、その効果を高めることができます。

すべてのビジネスにはそれぞれ独自の用語や表現があります。たとえば「drive (ドライブ)」という語は、動詞として自動車の運転などの行為に対して用いられますが、名詞として、データを保管するコンピューター デバイスを表すことも多くあります。

複数の語が似た意味を表すケースもいろいろあります。「screen (スクリーン)」と「monitor (モニター)」もその例で、いずれもコンピューターの出力を表示するデバイスを表し、状況によって使い分けられています。

意味を判断するには文脈の理解が不可欠です。たとえば医療文書の翻訳においては、「screen (スクリーン)」と「monitor (モニター)」はまったく異なる意味合いで使用されます。

適切な用語の選択には慎重な判断が必要になります。同じ概念については、組織の全員が同じ用語を使用する必要があります。複数の意味を持つ用語がある場合、その翻訳には時間もコストも余分にかかることがあります。そして多くの場合、それが翻訳プロジェクトのコスト上昇や再作業を招く要因となり、実際に用語の不統一は再作業の主な原因となっています。



用語集とは承認済みの用語を集めた参照資料

小規模な企業やプロジェクトであれば、スプレッドシートなどを使ったシンプルな用語集で済むこともありますが、大規模な多国籍企業や幅広い製品ラインを抱える場合は、すべての用語と翻訳の管理に、より自動化された手法や高度な手法が必要になります。

用語集には、ソース言語 (翻訳元の言語で通常は英語) での主要な専門用語と、すべてのターゲット言語 (翻訳先の言語) におけるそれらの承認済みの訳語が含まれます。また各用語の定義、文脈、品詞、承認日や校閲日など、その他のメタデータも含まれる場合があります。

用語集はスタイルガイドや翻訳メモリと同様、すべての翻訳物がお客様の品質要件を確実に満たすようにするための重要なツールの1つです。

例: 「laptop (ラップトップ)」と「notebook computer (ノートパソコン)」は同義語ですが、製品関連資料では常にそのどちらかだけを使用すべきです。

さらに複数の翻訳パートナーを利用する場合は、一貫性を保つために用語集がいっそう重要になります。

これは特に、納期の厳しい案件で多数の翻訳者がプロジェクトのさまざまな要素に同時に取り組む場合に当てはまります。

用語集があれば、どの言語にかかわらず、翻訳者は定義済みの重要な用語が出現した際に常に承認済みの訳語を参照できるため、適切な用語を使った一貫性のある翻訳に仕上げることができます。



ライオンブリッジにおける用語集の作成と使用

従来は、社内のレビュー担当者や言語サービスプロバイダー (LSP) が手作業で用語集を作成していました。現在、ライオンブリッジでは AI を活用したソリューション、プロセス、専門知識を駆使して、より効果的かつ効率的に用語集を作成・管理しています。ライオンブリッジでは用語集を作成するために、まずお客様の既存のソース資料、スタイルガイド、関連するその他の参考資料をレビューし、用語集の候補となる用語を特定します。この「用語マイニング」と呼ばれる作業の大部分は自動化が可能です。

AI 搭載のツールを利用すると、同一製品の旧バージョンや類似製品の既存の翻訳を活用できるため、用語管理者は用語集の各用語の正しい翻訳をすばやく見つけることができます。

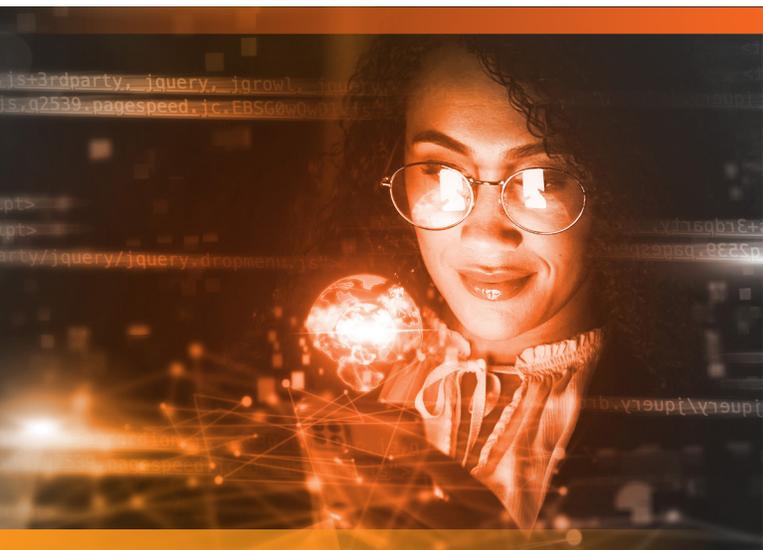
次に言語専門家が、抽出された用語集項目をレビューして調整を行います。各項目には文脈、定義、品詞などの情報が含まれます。こうした情報により、それぞれの用語が文脈的に適切で主題に沿っていることが確認されます。

次に可能であれば、これらの用語が各ターゲット言語の想定読者向けに適切に使用されているかどうかを、お客様側で検証することをお勧めします。

御社内の各言語の専門家 (可能であれば、その翻訳版が使用される対象市場・地域に居住している専門家) が用語集をレビューし、各用語の翻訳が自社の要件に沿っていることを確認することが理想的です。

用語集の作成、レビュー、管理が完了すると、ライオンブリッジはその用語集を翻訳プロセスに組み込みます。用語集を利用することで、原文中の最も重要な用語について必要なレベルの正確さを確保できるようになります。

翻訳者がお客様のコンテンツを翻訳する際は、ライオンブリッジの翻訳メモリツールが過去の翻訳をもとに訳文や語句を自動的に提案します。また用語も承認済みの用語集から表示されるため、適切な文脈から外れることなく、一貫性を保つことが容易になります。



効果的な用語集の特徴

入念に作成された用語集は、曖昧さをなくすための強力なツールとなります。優れた用語集は使いやすく、理解しやすいものであり、以下のような特徴を備えています。

1

効果的な用語集とは、まとまりのある整理された参考資料であり、相互排他的であると同時に網羅的です。相互排他的とは、それぞれの用語が用語集に1回だけ含まれることを意味します。たとえば、適切に定義された用語集には「car parts」、「car」、「parts」という各語の定義は含まれず、単に「car」と「parts」の定義だけが示されます。網羅的とは、特定の定義を必要とするすべての用語が用語集に含まれることを意味します。

2

用語集には、対象のオーディエンス、製品、サービスに的を絞った用語のみを含めます。他の業界標準の用語集や辞書に掲載されている用語を含める必要はありません。たとえば「Terminology Discovery」という用語は、用語集の作成を支援するライオンブリッジのAI対応ソリューションを指す当社固有の用語であるため、当社の用語集に含めます。一方で、翻訳された文章や語句のデータベースを表す「Translation Memory (翻訳メモリ)」という語は業界全体で使用されている共通の用語であるため、ライオンブリッジ固有の用語集に含める必要はありません。

3

用語集はできるだけ簡潔にする必要があります。用語集が大きくなれば、その分参照に時間がかかります。何千もの用語を列挙した用語集は、結果的に翻訳プロセスを遅らせることにもなりかねません。最適な用語集のサイズは、翻訳する資料の大きさや対象範囲にもよりますが、150～350項目程度です。

4

用語集には、各用語の定義と文脈も記載することが推奨されます。有効な用語集は、翻訳者にとっての優れた手引書となります。用語集には用語とその定義、そして訳語だけでなく、翻訳者が適切な用法を理解するための文脈情報も含めるべきです。

5

用語集には多くの場合、「翻訳しない語句 (DNT)」のリストも含まれています。たとえば、製品名などは翻訳しない場合がほとんどですが、そうした語句を用語集に含めるか、別個のDNT用語リストにまとめることで、翻訳者は作業時にそれらを適切に扱えるようになります。

用語集の進化

用語集は、企業のビジネス、製品、サービス、価値提案とともに成長・進化する「生きたデータベース」と考えることができます。

そのため、お客様は当社のチームと連携し、変更の入力やレビューに加え、用語の保存や参照についてもプロセスを確立しておくことが理想的です。社内での新しい用語の発生や形成に合わせて、半年から1年ごとに用語集を見直すといでしょう。この作業を協力して行うことで、用語集をすべての翻訳資料の一貫性と明瞭性を確保するための貴重なツールとして維持管理することができます。

翻訳用語集の作成に関する5つのベストプラクティス

ライオンブリッジは長年にわたって世界中の企業による用語集の作成と活用を支援してきた経験に基づいて、最良の成果を得るための以下のような提案を行っています。



1. チームを信頼する

用語集を作成する際に用意すべき資料については、以下のような点を踏まえつつ、当社の翻訳チームにご相談ください。

- 医療機器メーカーの場合、通常はユーザー向け資料とそれに対応するUI(ユーザーインターフェイス)オプションが、用語集の作成に向けた優れた起点となります。
- マーケティング関連の用語集には、スローガンやキャッチコピーも含めるとよいでしょう。
- ライフサイエンス分野の用語集では、MedDRA、EDQM、MDR/IVDRなどに記載されている業界標準の用語を考慮し、重複を避ける必要があります。
- 一般的には、製品名と翻訳しない用語(DNT)を追加することが常にベストプラクティスといえます。



2. 具体的に作る

まったく新しいプロジェクトの場合は、そのプロジェクト固有のソース資料に基づいて用語集を作成します。過去に翻訳したことのあるコンテンツを含むプロジェクトの場合は、翻訳済みのコンテンツや資料(セグメント化されたファイルまたは翻訳メモリ(TM))をベースに用語集を作成します。



4. すべてをレビューする

最終稿には必ず現地の専門家が目を通す必要があります。レビュー担当者によって意見の相違が生じた場合は、経験則として、最も明確かつ自明な訳語を採用するとよいでしょう。



3. 要点を押さえる

製品、プロセス、企業に関連する主要な用語的に絞りを、何もかもを含めようとするのではなく、使用頻度の高い用語、重要な用語、わかりにくい用語に焦点を当てるようにします。



5. 対象言語の地域を明確にする

翻訳を行う前に、対象言語の地域別バリエーションについてよく理解し、用語集の訳語を確認するようにします。たとえばスペイン語の場合なら、ラテンアメリカのスペイン語なのか、プエルトリコのスペイン語なのかなど、対象の地域を明確に指定する必要があります。

用語集の作成プロセス

ソースファイルから用語集を作成するプロセスは、主に以下のような作業で構成されます。

- 1 ソース ファイルの準備**

当社のチームがファイルを受け取り、AI を活用したソリューションによる用語の自動抽出に向けて有効性を確認します。このプロセスは、txt、docx、xlsx、pptx、pdf、xlz、xml、tmx、idml といった最も一般的なファイル形式に対応しています。
- 2 用語の抽出**

当社独自の AI 活用型の抽出ツールを必要に応じて調整し、目的の出力を指定します。用語の抽出自体が自動化されているため、最初の抽出作業にかかる時間は大幅に短縮されます。
- 3 抽出された用語のクリーンアップ**

クリーンアップの段階は、他の言語プロセスと同様、ソースの品質、分野、主題、その他多くの要因の影響を受けます。この段階では、お客様固有の要件を考慮することが重要です。クリーンアップは最終的な用語集の項目を選択する作業であるため、ソース言語とその内容、そしてお客様を熟知した言語専門家がを行います。言語専門家は分野との関連性やソース文書内での使用頻度などの基準に従って、用語の候補を選択します。すなわち言語クリーンアップ作業で得られる成果物は、候補用語を厳選した用語集になります。
- 4 モノリンガル用語集の承認**

最終的なモノリンガル用語集 (ソース言語のみの用語リスト) が完成したら、それを翻訳する前にお客様もしくは指定された当該分野の専門家 (SME) に確認してもらい、承認を受けることが推奨されます。
- 5 用語集の翻訳または修正**

言語担当者が用語集項目の翻訳または修正、あるいはその両方を行って、正確性と妥当性を確保します。このプロセスは用語の文脈と適切性の検証に役立ち、お客様によっては承認済みの類義語に加えて禁止用語なども加えることがあります。
- 6 お客様による最終承認**

用語集作成プロセスの最終段階では、翻訳済みの用語集をお客様に検証・承認してもらいます。承認されると用語集が完成して配布の準備が整うため、対応する翻訳メモリへのアップロードや参照のためのリンク付けを行い、コンプライアンス確保のための自動用語集チェックも実施します。

注: テキストが複雑だとより多くの用語集項目が生成される可能性があります。200 ~ 300 項目を超える用語集は推奨されません。用語集が大規模になると、より多くの注意が必要になり、管理負担も増大します。

生産性ガイドライン

ここに示す推定値は、最初に予想される用語集のサイズの一般的な指標となるものです。

この推定値は、コンテンツのタイプ、用語の豊富さ、内容の反復性などに加え、用語集プロジェクトで定義されるプロセス目標によっても変わることがあります。用語集プロジェクトの内容はお客様のビジネス ニーズによってそれぞれ異なるため、ぜひ当社のチームと協力しながら、具体的な要件を確認して疑問を解決し、お客様に最適なソリューションを構築してください。当社が万全の態勢でご支援いたします。

ソース テキストの量 (ワード数) /
用語集の項目 (エントリ数)

用語抽出に使用されるソース コンテンツ
の量 / 翻訳されるモノリンガル用語集の
最終的な用語数 (推定)

10,000/50

50,000/250

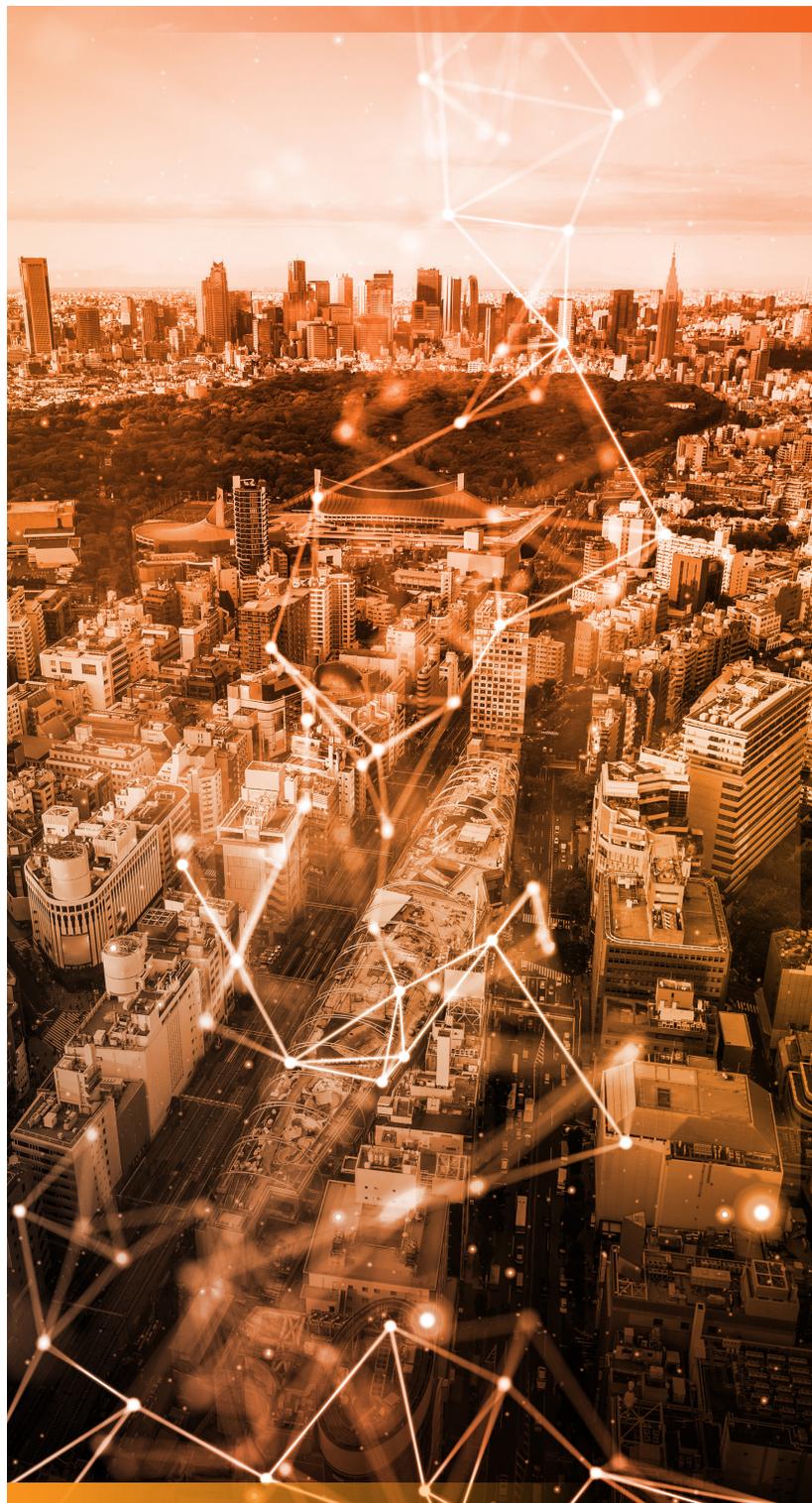
100,000/500

300,000/750

500,000/1,000

750,000/1,250

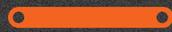
1,000,000/1,500



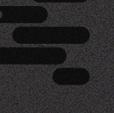
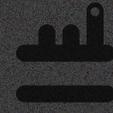


ライオンブリッジについて

ライオンブリッジはさまざまなお客様のために架け橋を築き、障壁を打ち破ってあらゆる課題を解決に導きます。25 年以上、350 を超える言語で翻訳とローカリゼーションのソリューションを提供し、お客様の企業が世界中の顧客とつながるための支援をしてきました。当社独自のワールドクラスのプラットフォームを通じて、世界各地で活躍する多数の専門家のネットワークを活用し、さまざまなブランド・企業と提携して文化的に豊かなエクスペリエンスを生み出しています。言語のプロフェッショナルとして、ライオンブリッジは優秀な人材と洗練されたマシン インテリジェンスの能力を活用し、お客様の顧客の心に響くメッセージをお届けします。米国マサチューセッツ州ウォルサムに本社を置くライオンブリッジは、世界 24 か国にソリューション センターを設けています。



詳しくはこちら
LIONBRIDGE.COM



LIONBRIDGE

© 2024 Lionbridge. All Rights Reserved.